

2022年度

予算要望書

令和3年11月12日

苫小牧市長 岩倉 博文 殿

公明党議員団 藤田 広美
大西 厚子
大野 正和
池田 謙次
神山哲太郎

2022年度予算要望（50項目）

- 1, 感染症から市民の命と健康を守るため（6項目）
- 2, ポストコロナへ経済と生活の再生を（8項目）
- 3, 健やかに暮らすまち健康都市を目指して（11項目）
- 4, 未来を築く子ども支援・若者支援の推進（8項目）
- 5, 子どもの未来を育む教育と文化の推進を（9項目）
- 6, 防災・減災対策と安全・安心のまちづくり（8項目）

1, 感染症から市民の命と健康を守るため（6項目）

- 一、今後、コロナワクチン接種が有料化になった場合、市独自の助成制度を設けること
- 一、3回目のワクチン接種の実施に当たっては予約や接種会場など速やかに推進できる体制をつくること
- 一、自宅等の療養者に対する往診・オンライン診療・訪問看護の活用など医療提供体制を整備すること
- 一、新型コロナに関する後遺症等の相談体制を整備すること
- 一、児童生徒への接種については欠席や早退をしなくても接種できる体制を構築すること
- 一、感染症の発症やクラスターなどの情報を速やかに周知すること

2, ポストコロナへ経済と生活の再生を（8項目）

- 一、コロナ禍で疲弊した事業者への事業継続支援等を状況に応じて実施すること
- 一、観光産業の回復と新たな展開を推進すること
- 一、カーボンニュートラルの具体的な推進を図ること
- 一、市民や漁業従事者の安心安全確保のため、赤潮等対策費（調査費・広報費）補助の導入とともに正しい情報発信を強化すること
- 一、燃料高騰による中小企業への影響調査と財政的な支援の推進を図ること
- 一、経済の疲弊を考慮し、インフラ整備など計画している公共事業を戦略的に前倒しで実施すること
- 一、市が管理する車道及び歩道で経年劣化している箇所の整備を計画的に実施すること
- 一、働き手と事業者間の雇用のミスマッチが大きくなっている実態からマッチングのあり方を検討して推進すること

3, 健やかに暮らすまち健康都市を目指して（11項目）

- 一、市立病院でオンライン診療の早期実施を図ること
- 一、市内医療機関でオンライン診療が実施できるよう支援すること
- 一、インフルエンザワクチンの確保と公費助成拡大を実施すること
- 一、前立腺がんなど男性特有のがん検診の推進を図ること
- 一、ピロリ菌検査の大人への受診拡大のため助成を実施すること
- 一、乳がん検診におけるエコー検査の公費助成を図ること
- 一、子宮頸がん検診に併用してHPV検査の公費助成を図ること
- 一、子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種について、高校生・大学生世代への市独自の助成を行うこと
- 一、市立病院に認知症専門医を配置した物忘れ外来や各種依存症治療の実施を目指すこと
- 一、禁煙外来治療の一部を助成すること（15歳以下の子どもがいる家庭の喫煙者、妊婦のいる家庭、妊婦本人を対象）
- 一、デジタル化に備えて高齢者を対象に民間と連携したスマホ操作講習会など実施すること

4, 未来を築く子ども支援・若者支援の推進（8項目）

- 一、医療費助成制度の助成対象の拡大は小中学生の入院から通院まで拡大を実施すること
- 一、不妊・不育症治療の保険適用がされた後、補助予算等で不妊治療に対する心のケア・治療を充実させること
- 一、病児・病後児保育の拡充を図ること
- 一、発達障がいの早期発見・早期療育に5歳児健診を実施すること
- 一、子ども・若者相談支援の拡大・充実を図ること
- 一、奨学ローン返済助成制度と利子補給制度の対象を拡大すること
- 一、奨学金返還支援制度の導入と代理返還制度の活用を推進すること
- 一、高校中退者など若者の高卒認定を支援するステップアップ支援促進事業を実施すること

5, 子どもの未来を育む教育と文化の推進を（9項目）

- 一、いじめ不登校対策に LINE 等を活用した相談事業を実施すること
- 一、不登校対策で専門相談員の増員や家庭学習指導員の導入を図ること
- 一、不登校となった児童生徒に自宅等でオンラインを活用した学習支援を実施すること
- 一、学校適応指導教室は西部地域の設置を目指すこと
- 一、児童生徒の社会的自立を目指した不登校支援を検討し、誰一人取り残さない学びのセーフティネットを構築すること
- 一、新年度から読書活動の推進と子育て支援にセカンドブック事業を実施すること
- 一、学校図書館司書の中学校への配置と民間委託を推進すること
- 一、静川遺跡は未来に伝えていく縄文遺跡公園としてトイレ・手洗い等の整備を推進すること
- 一、市科学センターの改築は屋内で子どもの学び・体験・遊びもできる施設を検討して計画を早期に策定すること

6, 防災・減災対策と安全・安心のまちづくり (8項目)

- 一、防災行政無線システムの常時活用を推進すること
- 一、漁港区近辺に津波災害を想定して海岸沿いの住民や港湾作業員や観光客の避難先に津波避難タワーの設置を検討すること
- 一、混乱が生じる災害時の迅速な避難所開設のため、避難所に避難所開設キットを配備すること
- 一、災害時に対応した避難時のタイムラインを市民に広く普及させること
- 一、一向に減らない子供たちへの不審者対策として防犯カメラの増設を急ぐこと
- 一、通学路の安全対策としてゾーン30の拡大を図ること
- 一、今後の公園のあり方について統廃合を含めた整備を検討し適正な維持管理を行うこと
- 一、自転車の乗り入れ可能な公園を拡充・整備すること